

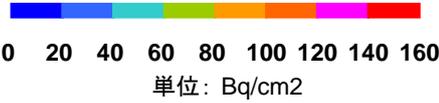
大熊町一時立入時放射線モニタリング結果(きなやん宅)

スマヤ法(拭き取り法)による表面汚染モニタリング

測定区分	Bq/cm ²	測定日	平成24年3月18日(日)
測定地区	きなやん宅1階/2階	測定時間	11:20~11:40
測定点	表面	測定者	きなやん
測定器	アラサーベイ	記録作成	xls-hashimoto

powered by xls-hashimoto

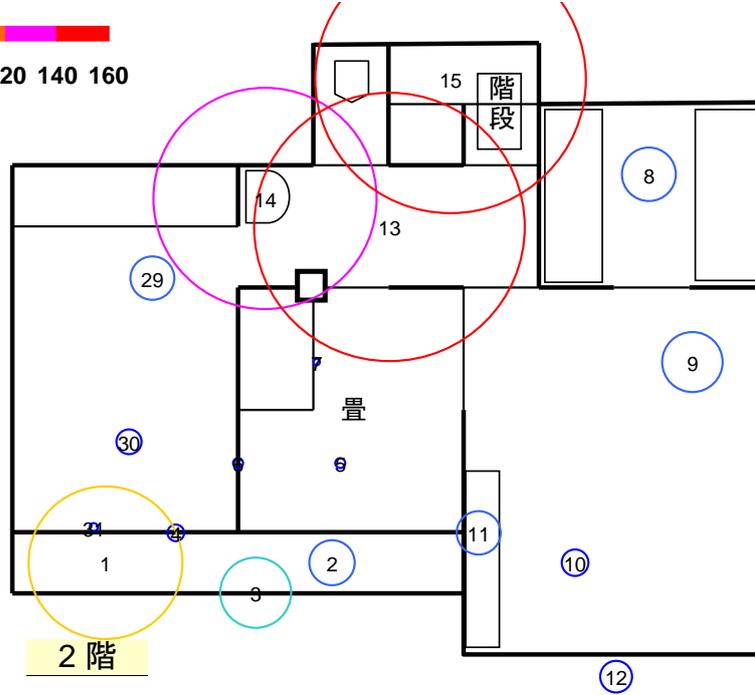
測定高さ: 表面



「きなやんの推測」

- スマヤ(拭取)採取場所と測定結果から、汚染時の状況を推測しました。
- ①汚染粉塵(放射性ブルーム)は、北側から進入した可能性が強い。
 - ②汚染は、1階の換気扇、2回の換気扇および玄関ドア隙間から侵入した。
 - ③侵入というより、家全体を汚染が包み込んだ。
 - ④換気扇は停電で動いていないが、外圧が高い(風により外気が進入)と換気扇口がバタバタと動く。
 - ⑤現時点で、放射性ガス(131I)は減衰して検出限界以下となっている。
 - ⑥屋根の破損により、屋根に付着した汚染が雨水と一緒に流れた。
 - ⑦しかし、雨水は、大きな汚染源ではない。
 - ⑧最大の汚染源は、換気扇口から侵入・落下した微小粉塵である。
 - ⑨拙宅の換気扇取り付け場所
1階: 台所(26)、居間(24)、トイレ(階段左脇)、脱衣場(17)、お風呂(18)
2階: 寝室(10)、トイレ(13の前)
(スマヤ番号)
 - ⑩1階畳部屋(21)、2階畳部屋(5)、寝室(10)、子供部屋(29)については、ドアが締め切られていたため汚染の侵入を防ぐことができた。

※1階居間・2階寝室とも換気扇が設置されているが、シロッコファンタイプであり、シャッターが設置されていたことにより換気扇からの汚染の侵入はなかった。

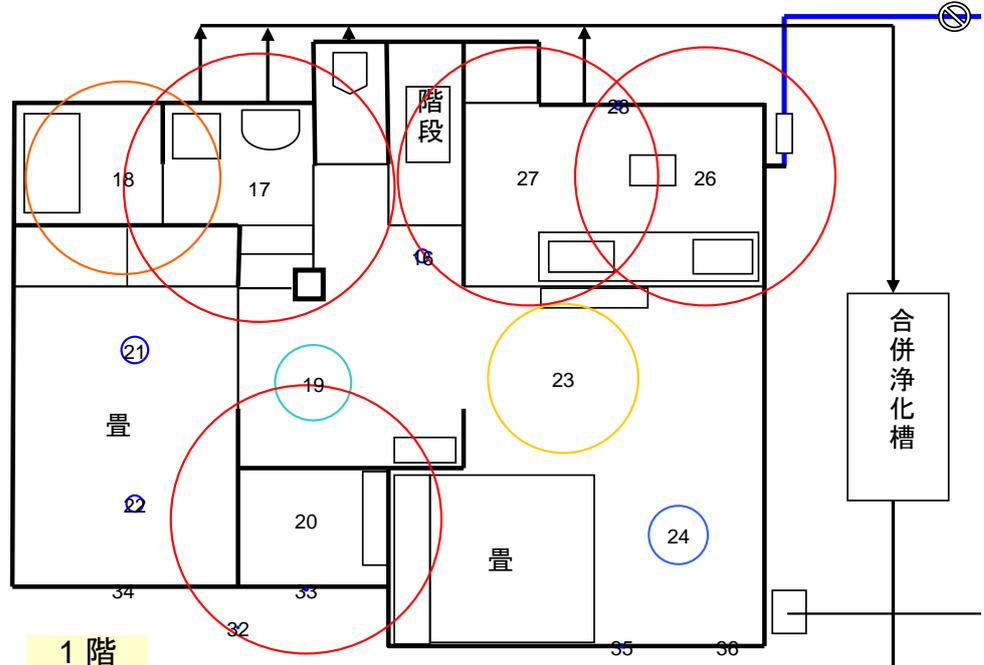


大事なポイントは、
①トイレ・お風呂等に接続するオープンスペースは、満遍なく汚染されている。
②台所は換気扇が必ずあり、大型であることから、台所の汚染は高いと考えられる。
③トイレ・お風呂も汚染が高い。そして、階段が汚染拡大ルートになっている。

以上から、汚染が低いと考えられる場所は、
④換気扇のない締め切った部屋。ただし、窓ガラス等に破損のないことが条件となる。

汚染侵入場所が換気扇であると、ほぼ特定できたと考えます。

このような状況で、双葉郡内の家は、ほぼ万遍なく汚染しているものと思います。



合併浄化槽

単位: Gross(cpm), Net(cpm), (Bq/cm²) BG(cpm)=135 時定数=10sec ND=99cpm=1Bq/cm²

平均	Gross 2,246 x ÷ 4.66			Net 1,928 x ÷ 5.48			Bq/cm ² 21 x ÷ 5.56				
No	Gross	Net	Bq/cm ²	No	Gross	Net	Bq/cm ²	No	Gross	Net	Bq/cm ²
1	8,300	8,165	91	11	2,500	2,365	26	21	1,600	1,465	16
2	2,600	2,465	27	12	1,800	1,665	19	22	1,000	865	10
3	3,900	3,765	42	13	26,000	25,865	287	23	8,100	7,965	89
4	1,000	865	10	14	12,000	11,865	132	24	3,300	3,165	35
5	700	565	6	15	33,000	32,865	365	25			
6	700	565	6	16	850	715	8	26	14,000	13,865	154
7	500	365	4	17	22,000	21,865	243	27	14,000	13,865	154
8	3,000	2,865	32	18	10,492	10,357	115	28	600	465	5
9	3,400	3,265	36	19	4,200	4,065	45	29	2,500	2,365	26
10	1,600	1,465	16	20	29,000	28,865	321	30	1,500	1,365	15

